

令和4年度
真木地区簡易水道施設整備工事
(真木配水施設工)

数量計算書

大月市役所 産業建設部 地域整備課

真木地区簡易水道施設整備工事
(真木配水施設工)

数量計算書 目次

1. 真木配水池工
 - 1-1 真木配水池本体工
 - 1-2 真木配水池基礎工
 - 1-3 真木配水池基礎土工

2. 真木配水池場内整備工
 - 2-1 真木配水池造成工

1. 真木配水池工

1-1. 真木配水池本体工

数量計算書

工種： 本体工事		
種別	配水池	数量 単位
ステンレスパネルタンク 10.0m×9.0m×高さ4.0m(有効水深3.5m)×2池 有効容量 312m ³ ×2池=624m ³ 以上 確保		
真木配水池 材料費		
	受台工	1 式
	底版工	1 式
	側板工	1 式
	天井工	1 式
	内部補強工	1 式
	付帯工(人孔、通気塔、内梯子、外梯子、手摺、電極口、水位計口)	1 式
	内部配管工(流入管、流出管、越流管、排水管、連通管)	1 式
真木配水池 労務費		
	受台工	1 式
	底版工	1 式
	側板工	1 式
	天井工	1 式
	内部補強工	1 式
	付帯工(人孔、通気塔、内梯子、外梯子、手摺、電極口、水位計口)	1 式
	内部配管工(流入管、流出管、越流管、排水管、連通管)	1 式

数量計算書

工種：		本体工事			
種別	配水池			数量	単位
ステンレスパネルタンク 10.0m×9.0m×高さ4.0m(有効水深3.5m)×2池 有効容量 312m ³ ×2池=624m ³ 以上 確保					
(1) 受台工	資材費			1	式
	形鋼	SS400	C-125×65×6	970	kg
	工場加工			924	kg
	熔融亜鉛メッキ	形鋼	2種 HDZ 55	924	kg
(1) 受台工	労務費			1	式
	現場組立			924	kg
(2) 底版工	資材費				
	アニュラプレート	SUS304	1524×2000×5t	508	kg
	アニュラプレート	SUS304	1524×3000×5t	1142	kg
	アニュラプレート	SUS304	1524×2560×5t	650	kg
	アニュラプレート	SUS304	1524×2500×5t	952	kg
	アニュラプレート	SUS304	1524×2072×5t	394	kg
	底板	SUS304	1524×3000×3t	1827	kg
	底板	SUS304	1524×1202×3t	366	kg
	底板	SUS304	928×3000×3t	278	kg
	底板	SUS304	928×1202×3t	56	kg
	集水ピット	SUS304	1450×3600×6t	522	kg
	集水ピット	SUS304	1000×800×6t	80	kg
	形鋼	SUS304	L-50×50×6	115	kg
	工場加工			6561	kg
(2) 底版工	労務費			1	式
	現場組立			6561	kg
(3) 側版工	資材費				
	1段目側パネル	SUS444	1000×1000×2.5t(防眩)	48	枚
	1段目側パネル	SUS444	1000×1000R×2.5t(防眩)	4	枚
	2段目側パネル	SUS444	1000×1000×2.5t(防眩)	48	枚
	2段目側パネル	SUS444	1000×1000R×2.5t(防眩)	4	枚
	3段目側パネル	SUS444	1000×1000×2.0t(防眩)	48	枚
	3段目側パネル	SUS444	1000×1000R×2.0t(防眩)	4	枚
	4段目側パネル	SUS329	1000×1000×1.5t(防眩)	48	枚
	4段目側パネル	SUS329	1000×1000R×1.5t(防眩)	4	枚
	1段目側パネル	SUS444	1000×1000×2.5t	10	枚
	2段目側パネル	SUS444	1000×1000×2.5t	10	枚
	3段目側パネル	SUS444	1000×1000×2.0t	10	枚
	4段目側パネル	SUS329	1000×1000×1.5t	10	枚
(3) 側版工	労務費			1	式
	現場組立			257.1	m ²
(4) 天井版工	資材費			1	式
	天井パネル	SUS329	1000×1000×1.5t(防眩)	176	枚
	天井パネル	SUS329	1000×1000R×1.5t(防眩)	8	枚
(4) 天井版工	労務費			1	式
	現場組立			179.1	m ²

(5) 内部補強工	資材費			1	式
	形 鋼	SUS329	L-40×40×3	173	kg
	形 鋼	SUS304	L-40×40×3	530	kg
	形 鋼	SUS329	L-40×40×3	623	kg
	形 鋼	SUS304	L-40×40×4	803	kg
	形 鋼	SUS304	L-40×40×4	266	kg
	形 鋼	SUS329	L-65×65×5	361	kg
	形 鋼	SUS304	L-50×50×4	220	kg
	形 鋼	SUS304	L-65×65×6	425	kg
	形 鋼	SUS304	L-65×65×6	444	kg
	形 鋼	SUS329	L-50×50×4	168	kg
	形 鋼	SUS304	L-50×50×4	378	kg
	形 鋼	SUS329	L-130×30×3	214	kg
	形 鋼	SUS304	L-130×50×4	335	kg
	形 鋼	SUS304	L-150×60×4	805	kg
	平 鋼	SUS329	FB-30×2	33	kg
	平 鋼	SUS304	FB-25×3	43	kg
	平 鋼	SUS304	FB-45×3	59	kg
	形 鋼	SUS329	L-30×30×3	5.8	kg
	形 鋼	SUS304	L-30×30×3	11	kg
	ガセットプレート	SUS329	408×158×6t	187	kg
	ガセットプレート	SUS329	160×160×4t	50	kg
	ガセットプレート	SUS304	420×150×6t	186	kg
	ガセットプレート	SUS304	400×150×6t	177	kg
	ガセットプレート	SUS329	160×160×4t	7.6	kg
	ガセットプレート	SUS304	160×160×4t	7.7	kg
	ガセットプレート	SUS304	160×160×4t	1.7	kg
	ベースプレート	SUS304	160×60×6t	28	kg
	形 鋼	SUS304	L-150×60×4	59	kg
	ガセットプレート	SUS304	130×110×6t	14	kg
	工場加工			6303	kg
(5) 内部補強工	労務費			1	式
	現場組立			6303	kg
(6) 付帯工	資材費			1	式
	マンホール蓋	SUS329	φ 600	2	枚
	点検口	SUS329	φ 600	2	枚
	耐積雪用通気	SUS329	100A×750L	12	個
	防波管	VPW	100A	14	m
	外タラップ	SUS304	W450×P300 4000H用	1	本
	保護枠	SUS304	φ 700×4000H用	1	組
	内タラップ	329/304	W370×P300 4000H用	2	本
	手 摺	SUS304	□22-1100H	53.8	m
	庇	SUS304	150×50 1.5t	54.3	m
	ピットタラップ	SUS304	W400×P300 1850H用	2	本
	送水管サポート	SUS304	1020L 150A	2	組
	送水管消音カバーサポート	SUS329	1020L 250A	2	組
	越流管サポート	SUS329	1020L 100A	2	組
	越流管サポート	SUS304	1020L 100A	2	組
	電極・水位計用防波筒サポート	SUS329	1020L 100A	4	組
	電極・水位計用防波筒サポート	SUS304	1020L 100A	4	組
	連通管用支持金具	SUS304	W350×172H 150A	2	組

(6) 付帯工	労務費			1	式
	マンホール蓋			9	kg
	点検口			9	kg
	耐積雪用通気			144	kg
	防波管			14	m
	外タラップ			27	kg
	保護枠			55	kg
	内タラップ			42	kg
	手摺			323	kg
	庇			136	kg
	ピットタラップ			20	kg
	送水管サポート			5	kg
	送水管消音カバーサポート			8.3	kg
	越流管サポート			4.1	kg
	越流管サポート			4.1	kg
	電極・水位計用防波筒サポート			8.3	kg
	電極・水位計用防波筒サポート			8.3	kg
	連通管用支持金具			3.9	kg
(7) 付帯配管工	資材費			1	式
	送水管				
	片F短管	SUS	150A×3400L	2	本
	両F曲管	SUS	150A×1383L×1100L	2	本
	消音カバー	SUS	250A×1200L	2	本
	フランジ継手材		150A	2	組
	配水管				
	片F短管	SUS	150A×980L	2	本
	越流管				
	片F短管	SUS	100A×3550L	2	本
	両F曲管	SUS	100A×1597L×1100L	2	本
	フランジ継手材		100A	2	組
	排泥管				
	片F短管	SUS	100A×800L	2	本
	連通管				
	片F短管	SUS	150A×200L	2	本
	両F曲管	SUS	150A×350L×360L	2	本
	フランジ継手材		150A	4	組
	仕切弁	FCD	150A	1	基
	電極座				
	片F短管	SUS	50A×200L	1	本
	水位計口				
	片F短管	SUS	100A×200L	1	本
(7) 付帯配管工	労務費			1	式
	鋼管吊込据付工		50A	0.2	m
	鋼管吊込据付工		100A	14.3	m
	鋼管吊込据付工		150A	15.5	m
	鋼管吊込据付工		250A	2.4	m
	フランジ継手工		100A	2	組
	フランジ継手工		150A	6	組
	弁設置工		150A	1	基

1-2. 真木配水池基礎工

数 量 計 算 書

工 種 : 基礎版工事					
種 別	単 位	算 式	数 量		
均しコンクリート工 基礎部	m3	σ=18N/mm2 無筋構造物 18-8-40 均しコン 基礎版 18.800×10.800×0.100	= 20.304		
		ピット 2.200×2.000×0.100×2	= 0.880		
		ピット控除 -2.000×1.800×0.100×2	= -0.720		
		送水管防護コン控除 -0.800×1.300×0.100×2	= -0.208		
		越流管防護コン控除 -0.800×1.300×0.100×2	= -0.208		
		連通管基礎 1.200×0.600×0.100	= 0.072		
		計	20.120	20.1 m3	
		配管防護	m3	送水管防護コン 1.000×1.500×0.100×2	= 0.300
				越流管防護コン 1.000×1.500×0.100×2	= 0.300
				計	0.600
		合計 =	20.720	20.7 m3	
均し型枠工 基礎部	m2	基礎版 (18.800+10.800)×0.100×2	= 5.920		
		ピット (2.200+2.000)×0.100×2×2	= 1.680		
		ピット控除 -2.000×0.100×2	= -0.4		
		送水管防護コン控除 -0.800×0.100×2	= -0.160		
		越流管防護コン控除 -0.800×0.100×2	= -0.160		
		連通管基礎 0.600×0.100×2	= 0.120		
		計	7.000	7.0 m2	
		配管防護	m2	送水管防護コン (1.000+1.500)×0.100×2×2	= 1.000
				越流管防護コン (1.000+1.500)×0.100×2×2	= 1.000
				計	2.000
		合計 =	9.000	9.0 m2	

数 量 計 算 書

工 種 : 基礎版工事			
種 別	単 位	算 式	数 量
基礎材 RC-40 t=100	m2	RC-40 t=100 基礎版 $18.800 \times 10.800 = 203.040$	203.0 m2
コンクリート工 配水池基礎	m3	$\sigma = 24\text{N/mm}^2$ 鉄筋構造物 24-8-25 基礎版 $18.600 \times 10.600 \times 0.500 = 98.580$	
		ピット $2.000 \times 1.800 \times 1.400 \times 2 = 10.080$	
		ピット控除 $-1.000 \times 0.800 \times 1.400 \times 2 = -2.240$	
		連通管基礎 $1.000 \times 0.600 \times 0.500 = 0.300$	
	m3	合計計	106.720
コンクリート工 配管防護	m3	$\sigma = 18\text{N/mm}^2$ 鉄筋構造物 18-8-40 送水管防護コン $0.800 \times 1.300 \times 1.100 \times 2 = 2.288$	
		越流管防護コン $0.800 \times 1.300 \times 1.300 \times 2 = 2.704$	
	m3	合計計	4.992
鉄筋工	t	鉄筋重量表より SD345 D16 6619.500	6619.5 kg
		鉄筋重量表より SD345 D13 300.600	300.6 kg
		合計 =	6920.100
型枠工 基礎	m2	鉄筋無筋構造物 H=30m以下 基礎版 $(18.600+10.600) \times 0.500 \times 2 = 29.200$	
		ピット $(2.000+1.800) \times 1.400 \times 2 \times 2 = 21.280$	
		連通管基礎 $0.600 \times 0.500 \times 2 = 0.600$	
	m2	合計計	51.080
配管防護		送水管防護コン $(0.800+1.300) \times 1.100 \times 2 \times 2 = 9.240$	
		越流管防護コン $(0.800+1.300) \times 1.300 \times 2 \times 2 = 10.920$	
		合計計	20.160

数 量 計 算 書

工 種 : 基礎版工事			
種 別	単 位	算 式	数 量
アスファルト舗装工 密粒度13 t=50		$17.910 \times 9.910 = 177.488$ ピット控除 $-1.000 \times 0.800 \times 2 = -1.600$	合計計 175.888 175.9 m²
地盤改良工		セメント系深層混合処理工法 = 1.000 セメント系深層混合処理工法 φ1000mm×50本 平均掘削長4.9m、設計コラム長4.55m 積上運搬費 地盤改良:機械組立解体費 = 1.000 地盤改良:施工機回送費 = 1.000 技術管理費 地盤改良:事前配合試験 4試料×3配合×1材齢 = 1.000 地盤改良:事前配合試験 同上試料土採取 = 1.000 チェックボーリング = 1.000 平板載荷試験 = 1.000 ※地耐力確認 100kN以内(載荷板にかかる実荷重)	1.0 式 1.0 式 1.0 式 1.0 式 1.0 式 1.0 箇所

1-3. 真木配水池 基礎土工

真木配水池基礎土工 数量表

名称	計算式	数量	単位
1. 土工 基礎掘削	本体基礎 $19.60 \times 11.60 \times 0.55H$	= 125.048	125.0 m3
	ビット基礎 $3.00 \times 2.80 \times 1.40H \times 2$ 箇所	= 23.520	23.5 m3
	越流管防護コンクリート $1.80 \times 2.20 \times 1.30H \times 2$ 箇所	= 10.296	10.3 m3
	送水管防護コンクリート $1.80 \times 2.20 \times 1.10H \times 2$ 箇所	= 8.712	8.7 m3
	計	167.576	167.6 m3
碎石基礎	本体基礎 t=10cm $\square 18.60 \times 10.60 (18.60+0.20) \times (10.60+0.20)$	= 203.040	203.0 m2
	ビット基礎 t=10cm $\square 2.00 \times 1.80 (2.00+0.20) \times (1.80+0.20) \times 2$ 箇所	= 8.800	8.8 m2
	越流管防護コンクリート t=10cm $\square 0.80 \times 1.30 (0.80+0.20) \times (1.30+0.20) \times 2$ 箇所	= 3.000	3.0 m2
	送水管防護コンクリート t=10cm $\square 0.80 \times 1.30 (0.80+0.20) \times (1.30+0.20) \times 2$ 箇所	= 3.000	3.0 m2
	計	217.840	217.8 m2
均し基礎	本体基礎 $\square 18.60 \times 10.60 (18.60+0.20) \times (10.60+0.20) \times 0.10$	= 20.304	20.3 m3
	ビット基礎 t=10cm $\square 2.00 \times 1.80 (2.00+0.20) \times (1.80+0.20) \times 0.10 \times 2$ 箇所	= 0.880	0.9 m3
	越流管防護コンクリート t=10cm $\square 0.80 \times 1.30 (0.80+0.20) \times (1.30+0.20) \times 0.10 \times 2$ 箇所	= 0.300	0.3 m3
	送水管防護コンクリート t=10cm $\square 0.80 \times 1.30 (0.80+0.20) \times (1.30+0.20) \times 0.10 \times 2$ 箇所	= 0.300	0.3 m3
	計	21.784	21.8 m3
均し基礎型枠	本体基礎 t=10cm $\square 18.60 \times 10.60 (18.60+0.20) \times 0.10 \times 2$ 箇所 + $(10.60+0.20) \times 0.10 \times 2$ 箇所	= 5.920	5.9 m2
	ビット基礎 t=10cm $\square 2.00 \times 1.80 (2.00+0.20) \times 0.10 \times 4$ 箇所 + $(1.80+0.20) \times 0.10 \times 4$ 箇所	= 1.680	1.7 m2
	越流管防護コンクリート t=10cm $\square 0.80 \times 1.30 (0.80+0.20) \times 0.10 \times 4$ 箇所 + $(1.30+0.20) \times 0.10 \times 4$ 箇所	= 1.000	1.0 m2
	送水管防護コンクリート t=10cm $\square 0.80 \times 1.30 (0.80+0.20) \times 0.10 \times 4$ 箇所 + $(1.30+0.20) \times 0.10 \times 4$ 箇所	= 1.000	1.0 m2
	計	9.600	9.6 m2

名称	計算式	数量	単位
埋戻し	躯体控除 本体基礎 $\square 18.60 \times 10.60 \quad 18.60 \times 10.60 \times 0.355$	= 69.992	70.0 m ³
	ビット基礎 $\square 2.00 \times 1.80 \quad 2.00 \times 1.80 \times 1.40 \times 2$ 箇所	= 10.080	10.1 m ³
	越流管防護コンクリート $\square 0.80 \times 1.30 \quad 0.80 \times 1.30 \times 1.30 \times 2$ 箇所	= 2.704	2.7 m ³
	送水管防護コンクリート $\square 0.80 \times 1.30 \quad 0.80 \times 1.30 \times 1.10 \times 2$ 箇所	= 2.288	2.3 m ³
		計 85.064	85.1 m ³
	碎石、均し基礎控除 21.784×2 箇所	= 43.568	43.6 m ³
	発生土埋戻し $167.576 - 85.064 - 43.568$	= 38.944	38.9 m ³
残土処理工	4t 10.0km $167.576 - 38.944$	= 128.632	128.6 m ³
残土処分費	土砂 同上	= 128.632	128.6 m ³
泥土処理工	地盤改良残土分	= 51.000	51.0 m ³
泥土処分費	地盤改良残土分 $43\text{m}^3 \times 1.1\text{t}/\text{m}^3$	= 56.100	56.1 t

2. 真木配水池 場内整備工

2-1. 真木配水池造成工

配水池造成													造成土工数量計算書				C1:掘削 C2:床掘 B1:盛土 B2:埋戻し	
位置	横断面面積			平均横断面面積			距離	C1 m ³	C2 m ³	B1 m ³	B2 m ³							
	C1 m ²	C2 m ²	B1 m ²	B2 m ²	C1 m ²	C2 m ²						B1 m ²	B2 m ²					
No. 1 (A)	8.70	0.00	0.00	0.00	4.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
No. 2 (B)	3.80	0.00	0.00	0.00	6.25	0.00	0.00	10.12	63.30	0.00	0.00	0.00	0.00					
No. 3 (C)	0.20	0.00	16.60	0.00	2.00	0.00	8.30	9.85	19.70	0.00	81.80	0.00	0.00					
合計								19.97	83.00	0.00	81.80	0.00	0.00					

3. 真木配水池 安全対策工

3-1. 真木配水池安全対策工

数 量 計 算 書

工 種 : 真木配水池安全対策工			
種 別	単 位	算 式	数 量
地盤改良工	人	地盤改良機械、プラント搬入×1日 地盤改良機械、プラント搬出×1日 1日×2 = 2.000 ※場内への入り口管理の為、1人体制。	2 人
造成工	人	機械(BH)搬入×1日 機械(BH)搬出×1日 掘削工×1日(日当り施工量230m ³ /日) ※土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m ³ 未満 機械掘削量83m ³ 1日×3 = 3.000 ※場内への入り口管理の為、1人体制。	3 人
基礎築造工	人	鉄筋搬入×1日 型枠搬入×1日 Co搬入×1日 型枠搬出×1日 1日×4 = 4.000 ※場内への入り口管理の為、1人体制。	4 人
真木配水池築造工	人	配管及び集水ピット、受台搬入×2日 付属品(外タラップ手摺等)、パネル搬入×3日 資機材搬入(パネル)①×1日 資機材搬入(パネル)②×1日 資機材搬入(パネル)③×1日 資機材搬入(付属品)④×1日 片付け及び搬出×1日 (1日×5)+2日+3日 計 10.000 ※場内への入り口管理の為、1人体制。	10 人